

## 事業報告

### I 事業の概況

本公益財団法人は、岡山県における理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、もって学術及び技術開発の進展に寄与することを目的として以下の事業を実施した。

#### 1 事業の実施状況

##### 1. 学術研究助成事業

公益目的事業1（岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

###### (1) 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

###### (2) 事業の概要

###### イ) 学術研究助成の対象

理工学の学術分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、または2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの。

###### ロ) 研究助成の種目と助成額

###### A) 内山勇三科学技術賞

内山工業(株)元会長故内山勇三氏の寄附金により設けたもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

2件	1件	200万円	400万円
----	----	-------	-------

###### B) 岡山工学振興会科学技術賞

一般研究 特色ある研究を格段に発展させるための研究を対象とする。

4件	1件	70万円	280万円
----	----	------	-------

奨励研究 37才以下の研究者が主体的に行う研究で、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究を対象とする。

5件	1件	35万円	175万円
----	----	------	-------

###### ハ) 募集方法

岡山県内の大学理工系学部及び高専、研究機関に3月初旬公募要項を配布（財団ニュース102号及び財団ホームページに掲載）4月24日に締切った。

二) 選考方法

研究分野による専門委員の選考と併せ選考委員会において選考した。

ホ) 研究助成応募状況

種 別		応募数	採択数	採択率	備考
		件	件	%	
内山勇三科学技術賞	特別研究	7	2	29	
岡山工学振興会科学技術賞	一般研究	20	4	20	
	奨励研究	11	5	45	
計		38	11	29	

(3) 研究助成採択課題と研究代表者

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額 万円
内山勇三 科学技術賞 特別研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 教授	藤井 達生	混合原子価鉄酸化物を用いた新規な 薄膜太陽電池の開発	200
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 准教授	二見 淳一郎	変性タンパク質の可溶性技術を活用 したがん抗原抗体検査試薬の開発	200
岡山工学 振興会 科学技術賞 一般研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (理学部) 准教授	岡本 秀毅	光フロー反応をキーステップとする 高性能有機半導体材料の創成	70
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (理学部) 准教授	高村 浩由	有機合成を基盤とした付着生物に対 する新規阻害剤の開発	70
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 教授	坂倉 彰	生物活性物質の短工程合成を志向し た高選択的ナザロフ環化反応の開発	70
	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 准教授	加来田 博貴	レチノイドX受容体を標的とした蛍 光性リガンドの創出とその探索ツ ールへの展開	70
岡山工学 振興会 科学技術賞 奨励研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 助教	篠永 東吾	新機能生体材料創成を目指したレー ザによる表面形状制御に関する研究	35
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 助教	大西 孝	工作物の熱変形を考慮した知能化研 削システムの開発	35
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 講師	高石 和人	有機円偏光発光色素開発を指向した ナフタレンオリゴマーの創製	35

岡山工学 振興会	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 助教	小西 敏功	イオンによるリン酸カルシウム系人工骨の高機能化への挑戦	35
科学技術賞 奨励研究	岡山県立大学 情報工学部 助教	瀬島 吉裕	認知症予測のための瞳孔反応現象に基づくライフログロボットの開発	35

## 2. 国際研究集会等派遣の助成

公益目的事業 2（国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

### (1) 事業の目的

岡山県内の大学及び研究機関等の優れた研究者等を、国外で開催される理工学分野の先端技術に関する研究集会に派遣することにより、その専攻する学術研究成果についての発表、情報収集、交換等の活動を援助することを目的とする。

### (2) 助成対象の研究集会

外国で開催される国際研究集会で国際的に権威のある学会、学術団体、又は学術研究機関等が主催するもの。

### (3) 国際研究集会等派遣助成実績

次の国際研究集会 7 名に対し、67 万円の助成を行った。

部 局	職	氏 名	研 究 集 会 名	開 催 地
岡山大学大学院 自然科学研究科	准教授	後藤 佑介	第 13 回モバイルコンピューティングとマルチメディアに関する国際会議	ベルギー ブリュッセル
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	矢納 陽	2015 年国際自動車制御学会 (CACS2015)	台湾 礁溪郷
岡山大学大学院 自然科学研究科	准教授	石田 尚之	第 15 回アジア太平洋化学工学連盟国際会議	オーストラリア メルボルン
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	村井 征史	環太平洋国際化学会議 2015	アメリカ ホノルル
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	准教授	山崎 慎一	環太平洋国際化学会議 2015	アメリカ ホノルル
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	笠井 昭範	17th International Conference on Human-Computer Interaction	アメリカ ロサンゼルス
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	学生	大城 千夏	第 11 回環太平洋セラミック学会 連合会議	韓国 済州島

### 3. 学術研究集会、学術講演会の助成

公益目的事業3（岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

#### (1) 事業の目的

岡山県内で開催される理工学に関する学術研究集会、学術講演会等に対し、その開催経費の一部を補助し、研究活動を支援することを目的とする。

#### (2) 助成対象の研究集会

イ) 学協会及びその支部が主催するもの。

岡山県内で開催される学会、シンポジウム、研究会、講演会、公開セミナー講習会等。

ロ) 公知された懇話会、研究会等が主催するもの。

ハ) 財団が認める組織が主催するもの。

#### (3) 学術研究集会、学術講演会の助成実績

次の研究集会 12 件について、52.5 万円の助成を行った。

研究集会名	主催団体	世話人
第30回中国四国ウィルス研究会	日本植物病理学会 植物ウィルス病研究会	岡山大学 鈴木 信弘
第21回中国四国支部分析化学若手セミナー	日本分析化学会中国四国支部	岡山大学 武安 伸幸
第11回小動物インビボイメージング研究会	小動物インビボイメージング研究会	岡山大学 上田 真史
第35回キャピラリー電気泳動シンポジウム	日本分析化学会電気泳動分析研究懇談会	岡山大学 金田 隆
2015年日本化学会中国四国支部大会	2015年日本化学会中国四国支部大会実行委員会・日本化学会	岡山大学 久保園 芳博
電気加工懇話会 第80回例会	電気加工懇話会	岡山大学 岡田 晃
日本生産管理学会中国・四国支部支部研究会	日本生産管理学会中国・四国支部	岡山大学 柳川 佳也
第38回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2015)	電子情報通信学会 基礎・境界サイエティ SITA サブサイエティ	岡山大学 横平 徳美
IEEE 広島支部学生シンポジウム	IEEE 広島支部	岡山大学 船曳 信生
第33回イーストワークショップ	イーストワークショップ	岡山大学 守屋 央朗
第8回スペースガード研究会	NPO 法人日本スペースガード協会	日本スペースガード協会 奥村 真一郎
International Workshop on the Interface of Plant and Fungal Viruses	日本植物病理学会 植物ウィルス病研究会	岡山大学 鈴木 信弘

#### 4. 産学官連携事業の助成

公益目的事業4（岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

##### (1) 事業の目的

岡山県内の大学、研究機関、企業、行政等で構成される理工学に関する研究会等に対し、その経費の一部を補助し、研究活動及び産学官連携の促進を支援することを目的とする。

##### (2) 助成対象の研究会等

財団が設置を認めた産学官連携研究会等

(3) 産学官連携研究会等の助成実績	3件	13万円
岡山新材料技術融合フォーラム		9万円
C5ケミカル新技術研究会		2万円
「機能性ナノ複合材料」科学・技術研究フォーラム		2万円

#### 5. 学術交流推進助成事業

公益目的事業5（岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成）に掲げる事業は次により行った。

##### (1) 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

##### (2) 事業の概要

学術交流推進助成の対象

種別	所属機関・職	氏名	研究題目	助成額
学術交流 推進事業	川崎医科大学 教授	上村 史朗	急性冠症候群の病態解明と効率的な二次予防法の確立	万円 30
	川崎医科大学 教授	上村 史朗	急性冠症候群の病態解明と効率的な二次予防法の確立	100
	岡山大学 特任教授	高田 潤	機能性材料の開発	50
	岡山大学 講師	松浦 宏治	生殖補助技術の高度化研究	20
	川崎医科大学 教授	上村 史朗	急性冠症候群の病態解明と効率的な二次予防法の確立	50
	岡山大学 教授	藤井 正浩	粘弾性材料の摩擦低減に関する研究	50
	岡山大学 特任教授	瀬沼 武秀	自動車車体の軽量化を実現するホットスタンピング技術に関する研究	50
	岡山大学 特任教授	尾坂 明義	新規歯科用セラミックスの開発	50
	岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	30

川崎医科大学 教授	上村 史朗	急性冠症候群の病態解明と効率的な二次予防法の確立	30
川崎医科大学 特任教授	加来 浩平	血管内皮細胞生理活性因子による内臓肥満抑制の分子基盤解明と新規治療法の探索	100
川崎医科大学 教授	原田 保	CDDP 内耳障害における病態の解明	100
川崎医科大学 教授	上村 史朗	急性冠症候群の病態解明と効率的な二次予防法の確立	100
川崎医科大学 教授	上村 史朗	急性冠症候群の病態解明と効率的な二次予防法の確立	10
川崎医科大学 教授	上村 史朗	急性冠症候群の病態解明と効率的な二次予防法の確立	150
川崎医科大学 教授	上村 史朗	急性冠症候群の病態解明と効率的な二次予防法の確立	20
岡山大学 准教授	岡本 康寛	レーザー加工の高機能化に関する研究開発	100
川崎医科大学 教授	上村 史朗	急性冠症候群の病態解明と効率的な二次予防法の確立	10.8
計		18 件	1,050.8

#### 6. 学術的研究成果並びに先端学術情報等の普及の促進

定款第4条(3)(成果の普及)(4)(情報の収集及び提供)に掲げる事業は次により行った。

(1) 学術的研究成果及び学術情報の普及

学術研究助成者による講演会を開催。

岡山大学工学部研究年報、工学部紀要、並びに(公財)岡山工学振興会ニュースを企業に提供。

ホームページ(URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>)に掲載

(2) ANNUAL REPORT OF THE OKAYAMA FOUNDATION FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY

(公財)岡山工学振興会年報の発行と配布

学術研究助成者の研究成果報告等の報告にもとづき、ANNUAL REPORTを毎年発行し、県内の大学、研究機関及び企業に配布した。

#### 7. 地域企業等との連携・交流事業

定款第4条(5)(6)(連携・交流)に掲げる事業は次により行った。

(1) 岡山新材料技術融合フォーラムの開催

(2) C5ケミカル新技術研究会おもしろ体験でえーの開催

(3) 機能性ナノ複合材料科学・技術研究フォーラムの開催

(4) 「ほっと交流会」の開催

## 8. 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄 附 者	申込金額	領収金額	備考
学術研究助成	テルモ(株)	30	30	
	ホストン・サイエンティフィック・ジャパン(株)	100	100	
	戸田工業(株)	50	50	
	(株)リバネス	20	20	
	(医)杉の会 杉本クリニック	50	50	
	内山工業(株)	50	50	
	高周波熱錬(株)	50	50	
	(株)ジーシー研究所	50	50	
	DOWA エフテック(株)	30	30	
	日本バイオセンサーズ(株)	30	30	
	(医)赤穂中央病院	100	100	
	(医)赤穂中央病院	100	100	
	テルモ(株)	100	100	
	(社)十全会 心臓病センター榊原病院	10	10	
	アボットバスキュラー・ジャパン(株)	150	150	
	(社)全仁会 倉敷平成病院	20	20	
	(株)片岡製作所	100	100	
テルモ(株)	10.8	10.8		
(有)トラスティクルー	50	50		
	合 計	1,100.8	1,100.8	

## 2 重要な契約に関する事項

「該当なし」

## 3 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：万円)

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期
経常収益合計	1,985	3,647	2,994	3,536
経常費用合計	1,872	4,217	3,654	2,908
当期正味財産増減額	2,572	9,342	1,955	8,591
資産合計	31,876	41,246	43,229	51,863
負債合計	281	308	337	380
正味財産	31,595	40,938	42,892	51,483

II 法人の課題

「該当なし」

III 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

監事2名を置いて、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成することとしている。

IV 株式保有している場合の概要

内山工業株式会社株券を研究助成基金として寄附を受け、その運用益を公益事業の財源として使用している。

V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

「該当なし」



## 事業報告の附属明細書

- 1 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項  
「該当なし」
- 2 事業の状況について補足すべき重要な事項
  - (1) 岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業  
理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が単独又は複数の研究者が同一の研究課題について共同で行うものを助成対象とする
  - (2) 国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業  
外国で開催される理工学分野の先端技術に関する国際研究集会で、国際的に権威のある学会、学術団体又は学術研究機関等が主催するものを助成対象とする
  - (3) 岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業  
岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する先端技術に関する学術研究集会を助成対象とする
  - (4) 岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業  
理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会を助成対象とする
  - (5) 岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成  
岡山県内の研究機関等に所属する研究者等で、理工系の基礎及び応用研究又はこれらに関わる学術集会等を助成対象とする
- 3 許認可について補足すべき事項  
「該当なし」
- 4 事業の実施状況についての補足すべき事項  
「該当なし」
- 5 役員会等に関する補足すべき事項  
「該当なし」
- 6 正味財産増減の状況並びに財産の増減の推移についての補足すべき事項  
「該当なし」